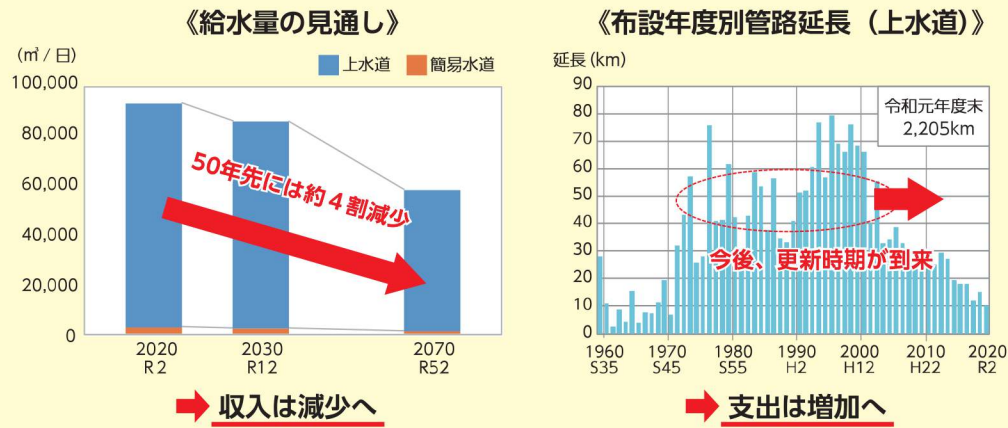


「長岡市水道事業経営戦略(令和3年度～令和12年度)」を策定しました!

将来にわたり健全な経営を維持していくために、今後50年間を見据えた中長期的な水道事業の基本計画として「戦略的取組み」及び「投資・財源の見通し」からなる経営戦略を策定しました。
 “安全な命の水を安定して供給し、時代の変化に合わせ経営を継続できる水道”を目指します。

将来的に経営は厳しくなっていく見通しです。

近年、人口減少などにより、給水量や収入が減少する中で、今後見込まれる多額の更新費用(施設や管路)を賅っていく必要があります。



このままだと水道を維持していくのが難しくなるね!



今後10年間における主な取組み

効率的な配水

- 与板浄水場及び寺泊浄水場を廃止し、妙見浄水場へ統合します。
- 妙見浄水場などの骨格送配水幹線施設については、長寿命化計画を策定します。
- 施設等については、定期的な点検や調査により適切に修繕等を行い、長寿命化に努めます。

強靱な水道

- 骨格送配水幹線施設を対象とした耐震化計画を策定し、耐震化を進めます。
- 災害時等に、水道水を相互に融通できる連絡管の整備に向け、近隣事業者との協議を進めます。
- 基幹管路や重要給水施設(病院など)への管路は、優先的に更新を進めます。

縮小社会における持続可能な経営

- 施設の再編やダウンサイジング(規模縮小)等により、資産のスリム化を図ります。
- アセットマネジメント(資産管理)等や将来の事業環境を踏まえて、適正な料金水準や体系について検討します。
- ホームページの充実を図り、財務状況等について、広報活動に努めます。

経営戦略の概要紹介

基本理念 安全でおいしい水を長岡の未来へつなぐ水道 ～ 当たり前の水道を いつまでも「あたりまえに」～

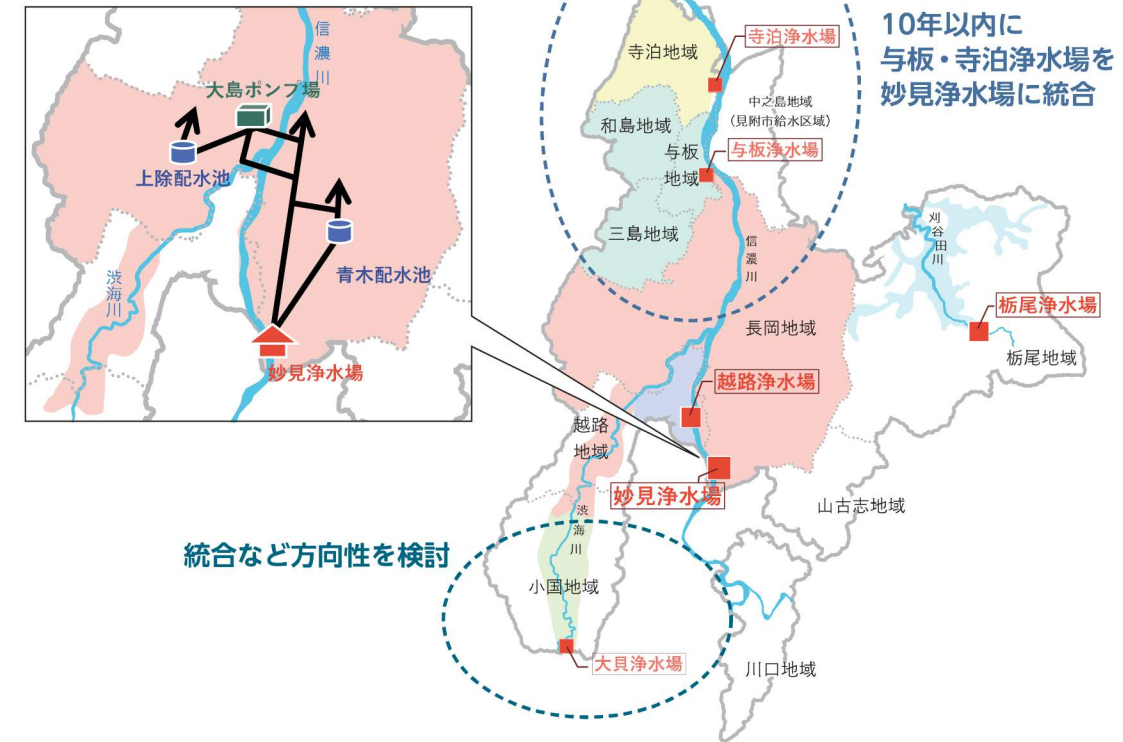
将来を見据えた重点的な取組み

- ① 効率的な水運用に向けて、妙見浄水場を核に栃尾及び越路浄水場を加えた3浄水場への再編を進めます。
- ② 妙見浄水場給水区域の「骨格送配水幹線網」を高水準な維持管理で保全します。

「あたりまえ」の水道を守り、次世代に引き継いでいこう!



《骨格送配水幹線網》



選択と集中がキーワード!



基本方針



“水需要減少下においても安定供給できる水道”の実現のため、「効率的な配水(効率)」及び「強靱な水道(強靱)」を事業的視点での基本方針とします。

また、経営基盤の強化のため、「縮小社会における持続可能な経営(持続)」を経営的視点での基本方針とします。

水道事業の基本として今後も水質の維持やおいしい水の供給に取り組みます。

安全でおいしい水の供給